

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 日本興亜損害保険株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 8754 URL <http://www.nipponkoa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 兵頭 誠

問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループリーダー

(氏名) 田村 和久

TEL (03)3593-5127

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(金額は単位未満切捨、諸比率は四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	216,090	△7.3	11,736	25.7	7,657	12.9
21年3月期第1四半期	233,025	—	9,340	—	6,783	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	10.17	10.16
21年3月期第1四半期	8.89	8.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	3,077,970	402,622	13.1	534.03
21年3月期	3,089,523	345,467	11.2	458.09

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 401,886百万円 21年3月期 344,674百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	8.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	440,000	△6.7	8,000	△60.7	4,000	△68.8	5.31
通期	890,000	△6.2	22,000	—	13,000	30.4	17.27

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 816,743,118株 21年3月期 816,743,118株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 64,200,914株 21年3月期 64,339,041株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 752,461,044株 21年3月期第1四半期 762,251,559株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1．連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出や生産に持ち直しの動きがみられましたものの、民間設備投資や企業収益が大幅に減少する中で、雇用情勢の悪化を背景に個人消費も低迷するなど、厳しい状況にありました。

このような中で、当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、保険引受収益が2,014億円、資産運用収益が144億円、その他経常収益が2億円となった結果、2,160億円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて169億円の減少となりました。

一方、経常費用は、保険引受費用が1,676億円、資産運用費用が22億円、営業費及び一般管理費が343億円、その他経常費用が1億円となった結果、2,043億円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて193億円の減少となりました。

以上の結果、経常利益は117億円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて23億円の増加となりました。これに特別損益を加減し、法人税等合計及び少数株主利益を控除した四半期純利益は76億円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて8億円の増加となりました。

損害保険事業については、正味収入保険料が前第1四半期連結累計期間に比べて121億円減収し、1,648億円となり、正味支払保険金においては、前第1四半期連結累計期間に比べて2億円減少し、988億円となりました。また、主要種目である自動車保険においては、正味収入保険料が前第1四半期連結累計期間に比べて13億円減収し、847億円となり、正味支払保険金が前第1四半期連結累計期間に比べて7億円減少し、491億円となりました。

一方、生命保険事業については、生命保険料が前第1四半期連結累計期間に比べて11億円減少し、152億円となり、生命保険金等においては、前第1四半期連結累計期間に比べて3億円増加し、29億円となりました。

2．連結財政状態に関する定性的情報

株式相場の上昇などにより、その他有価証券評価差額金は増加したものの、債券貸借取引受入担保金の減少を主因として、前連結会計年度末に比べて総資産は115億円減少し、3兆779億円となりました。

3．連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月20日公表の予想数値から変更ありません。

4．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	87,052	113,074
コールローン	21,611	16,043
買現先勘定	29,995	29,996
債券貸借取引支払保証金	29,000	32,127
買入金銭債権	12,242	41,300
金銭の信託	84,876	74,843
有価証券	2,195,947	2,134,547
貸付金	245,772	242,215
有形固定資産	128,798	129,928
無形固定資産	1,141	1,146
その他資産	166,653	167,746
繰延税金資産	77,093	108,748
貸倒引当金	△2,217	△2,195
資産の部合計	3,077,970	3,089,523
負債の部		
保険契約準備金	2,551,356	2,557,377
支払備金	291,980	290,239
責任準備金等	2,259,376	2,267,137
その他負債	96,048	155,289
退職給付引当金	22,528	22,007
賞与引当金	1,569	6,127
役員賞与引当金	—	11
特別法上の準備金	3,730	3,060
価格変動準備金	3,730	3,060
繰延税金負債	41	37
負ののれん	73	146
負債の部合計	2,675,347	2,744,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,249	91,249
資本剰余金	46,702	46,702
利益剰余金	171,579	169,993
自己株式	△57,993	△58,122
株主資本合計	251,536	249,822
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	153,027	97,349
繰延ヘッジ損益	2,919	3,700
為替換算調整勘定	△5,597	△6,198
評価・換算差額等合計	150,349	94,851
新株予約権	376	458
少数株主持分	359	334
純資産の部合計	402,622	345,467
負債及び純資産の部合計	3,077,970	3,089,523

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	233,025	216,090
保険引受収益	217,310	201,440
(うち正味収入保険料)	176,991	164,859
(うち収入積立保険料)	16,049	7,477
(うち積立保険料等運用益)	6,755	5,876
(うち生命保険料)	16,426	15,252
(うち責任準備金等戻入額)	—	7,462
資産運用収益	14,697	14,434
(うち利息及び配当金収入)	18,781	16,243
(うち金銭の信託運用益)	683	737
(うち有価証券売却益)	1,069	2,015
(うち積立保険料等運用益振替)	△6,755	△5,876
その他経常収益	1,017	216
経常費用	223,685	204,353
保険引受費用	185,243	167,602
(うち正味支払保険金)	99,106	98,837
(うち損害調査費)	8,741	8,917
(うち諸手数料及び集金費)	31,298	29,546
(うち満期返戻金)	33,355	25,540
(うち生命保険金等)	2,678	2,981
(うち支払備金繰入額)	4,594	1,527
(うち責任準備金等繰入額)	5,152	—
資産運用費用	3,801	2,219
(うち金銭の信託運用損)	11	273
(うち有価証券売却損)	990	478
(うち有価証券評価損)	640	185
営業費及び一般管理費	34,451	34,355
その他経常費用	189	176
(うち支払利息)	37	33
経常利益	9,340	11,736
特別利益	11	0
特別損失	766	1,262
特別法上の準備金繰入額	680	670
価格変動準備金繰入額	680	670
その他	86	592
税金等調整前四半期純利益	8,584	10,474
法人税及び住民税等	1,450	73
法人税等調整額	340	2,735
法人税等合計		2,809
少数株主利益	9	7
四半期純利益	6,783	7,657

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,584	10,474
減価償却費	1,676	1,588
減損損失	52	—
のれん償却額	△73	△73
支払備金の増減額 (△は減少)	4,639	1,572
責任準備金等の増減額 (△は減少)	4,756	△7,787
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△352	18
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22,047	521
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,632	△4,557
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△11
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	680	670
利息及び配当金収入	△18,781	△16,243
有価証券関係損益 (△は益)	438	△2,245
支払利息	37	33
為替差損益 (△は益)	△667	△87
有形固定資産関係損益 (△は益)	22	75
貸付金関係損益 (△は益)	37	—
金銭の信託関係損益 (△は益)	△454	△314
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	1,560	2,837
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	13,076	△5,507
その他	1,294	△13,928
小計	△10,161	△32,964
利息及び配当金の受取額	18,585	15,354
利息の支払額	△31	△104
法人税等の支払額	△3,499	△2,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,893	△20,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額 (△は増加)	5,655	3,426
買入金銭債権の取得による支出	△990	—
買入金銭債権の売却・償還による収入	2,204	1,027
金銭の信託の増加による支出	△3,380	△12,300
金銭の信託の減少による収入	3,729	3,000
有価証券の取得による支出	△231,633	△83,158
有価証券の売却・償還による収入	243,816	114,614
貸付けによる支出	△18,129	△22,130
貸付金の回収による収入	14,568	18,573
債券貸借取引支払保証金・受入担保金の純増減額	863	△41,700
資産運用活動計	16,704	△18,647
営業活動及び資産運用活動計	21,597	△39,015
有形固定資産の取得による支出	△538	△586
有形固定資産の売却による収入	76	67
その他	△2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,239	△19,167

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△18	△6
自己株式の売却による収入	78	83
配当金の支払額	△5,716	△6,019
少数株主への配当金の支払額	△12	△8
その他	△159	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,828	△6,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△522	385
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,782	△45,258
現金及び現金同等物の期首残高	140,825	168,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	155,607	123,267

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	損害保険事業 (百万円)	生命保険事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益					
(1) 外部顧客に対する経常収益	220,526	18,682	239,209	(6,183)	233,025
(2) セグメント間の内部経常収益	224	5	230	(230)	-
計	220,751	18,688	239,439	(6,414)	233,025
経常利益	9,307	32	9,340	-	9,340

- (注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社における業務の実態を勘案して区分しております。
2. 各事業区分の主要な事業内容
(1) 損害保険事業・・・損害保険引受業務及び資産運用業務
(2) 生命保険事業・・・生命保険引受業務及び資産運用業務
3. 当第1四半期連結累計期間における外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、「損害保険事業」に係る経常収益のうちの責任準備金等戻入額を連結損益計算書上は経常費用のうちの責任準備金等繰入額に含めて表示したことによる振替額であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	損害保険事業 (百万円)	生命保険事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益					
(1) 外部顧客に対する経常収益	208,063	17,663	225,727	(9,636)	216,090
(2) セグメント間の内部経常収益	223	5	228	(228)	-
計	208,286	17,669	225,956	(9,865)	216,090
経常利益	11,329	407	11,736	-	11,736

- (注) 1. 事業区分は、当社及び連結子会社における業務の実態を勘案して区分しております。
2. 各事業区分の主要な事業内容
(1) 損害保険事業・・・損害保険引受業務及び資産運用業務
(2) 生命保険事業・・・生命保険引受業務及び資産運用業務
3. 当第1四半期連結累計期間における外部顧客に対する経常収益の消去欄の金額のうち主なものは、「生命保険事業」に係る経常費用のうちの責任準備金等繰入額を四半期連結損益計算書上は経常収益のうちの責任準備金等戻入額に含めて表示したことによる振替額であります。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの経常収益の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

同上

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高（経常収益）が、連結売上高（経常収益）の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

同上

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

連結

(1) 当四半期の損益状況(連結)

(単位:百万円)

区 分		前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	比較増減	増減率
経 常	保 険 引 受 収 益	217,310	201,440	15,870	7.3
	(うち正味収入保険料)	(176,991)	(164,859)	(12,131)	(6.9)
	(うち収入積立保険料)	(16,049)	(7,477)	(8,572)	(53.4)
	(うち生命保険料)	(16,426)	(15,252)	(1,174)	(7.1)
	保 険 引 受 費 用	185,243	167,602	17,640	9.5
	(うち正味支払保険金)	(99,106)	(98,837)	(268)	(0.3)
	(うち損害調査費)	(8,741)	(8,917)	(175)	(2.0)
	(うち諸手数料及び集金費)	(31,298)	(29,546)	(1,751)	(5.6)
	(うち満期返戻金)	(33,355)	(25,540)	(7,815)	(23.4)
	(うち生命保険金等)	(2,678)	(2,981)	(302)	(11.3)
損	資 産 運 用 収 益	14,697	14,434	263	1.8
	(うち利息及び配当金収入)	(18,781)	(16,243)	(2,538)	(13.5)
	(うち有価証券売却益)	(1,069)	(2,015)	(946)	(88.5)
	資 産 運 用 費 用	3,801	2,219	1,582	41.6
	(うち有価証券売却損)	(990)	(478)	(512)	(51.7)
(うち有価証券評価損)	(640)	(185)	(455)	(71.1)	
益	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	34,451	34,355	95	0.3
	そ の 他 経 常 損 益	827	39	788	95.2
	経 常 利 益	9,340	11,736	2,396	25.7
特 別 損 益	特 別 利 益	11	0	10	94.3
	特 別 損 失	766	1,262	496	64.7
	特 別 損 益	755	1,262	506	-
税金等調整前四半期純利益		8,584	10,474	1,890	22.0
法人税及び住民税等		1,450	73	1,377	94.9
法人税等調整額		340	2,735	2,394	702.6
法人税等合計		-	2,809	-	-
少数株主利益		9	7	2	20.7
四半期純利益		6,783	7,657	874	12.9

連結

(2) 種目別保険料・保険金（連結）

元受正味保険料（除く収入積立保険料）

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)			当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)
火 災	32,782	17.0	0.5	30,000	16.8	8.5
海 上	5,498	2.8	10.1	3,947	2.2	28.2
傷 害	15,399	8.0	8.4	14,584	8.1	5.3
自 動 車	86,332	44.6	1.4	85,064	47.5	1.5
自動車損害賠償責任	26,773	13.9	3.3	19,982	11.1	25.4
そ の 他	26,484	13.7	2.4	25,725	14.3	2.9
合 計	193,270	100.0	1.7	179,305	100.0	7.2

正味収入保険料

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)			当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)
火 災	23,823	13.5	0.1	21,349	13.0	10.4
海 上	4,736	2.7	10.2	3,407	2.1	28.1
傷 害	15,359	8.7	10.5	14,639	8.9	4.7
自 動 車	86,129	48.6	1.5	84,790	51.4	1.6
自動車損害賠償責任	22,304	12.6	4.2	16,867	10.2	24.4
そ の 他	24,637	13.9	3.2	23,804	14.4	3.4
合 計	176,991	100.0	2.1	164,859	100.0	6.9

正味支払保険金

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)			当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)
火 災	9,442	9.5	4.2	10,780	10.9	14.2
海 上	1,340	1.4	35.1	2,063	2.1	53.9
傷 害	8,003	8.1	10.7	7,594	7.7	5.1
自 動 車	49,914	50.3	0.6	49,191	49.8	1.4
自動車損害賠償責任	18,361	18.5	0.3	17,809	18.0	3.0
そ の 他	12,043	12.2	9.5	11,399	11.5	5.3
合 計	99,106	100.0	1.1	98,837	100.0	0.3

(注) 上記各表の諸数値はセグメント間の内部取引を相殺する前の数値であります。

(3) 有価証券関係（連結）

満期保有目的の債券で時価のあるもの

種類	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		
	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
公社債	254,194	257,294	3,100
外国証券	-	-	-
合計	254,194	257,294	3,100

責任準備金対応債券で時価のあるもの

種類	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		
	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
公社債	5,334	5,448	113
外国証券	-	-	-
合計	5,334	5,448	113

その他有価証券で時価のあるもの

種類	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		
	取得原価 (百万円)	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	差額 (百万円)
公社債	891,193	904,298	13,104
株式	327,320	580,230	252,909
外国証券	383,986	356,940	27,045
その他	16,220	16,427	207
合計	1,618,721	1,857,897	239,176

(注)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	
1	. その他有価証券で時価のあるものについて159百万円減損処理を行っております。なお、時価のある有価証券の減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。
2	. 四半期連結貸借対照表において買入金銭債権として処理されている貸付債権信託受益権等を「その他」に含めております。

(4) 金銭の信託関係（連結）

満期保有目的の金銭の信託

該当事項はありません。

運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

種類	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		
	取得原価 (百万円)	四半期連結貸借対照表計上額 (百万円)	差額 (百万円)
金銭の信託	34,000	33,714	285

(注)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	
上記記載以外に取得原価をもって四半期連結貸借対照表に計上している合同運用の金銭の信託が897百万円あります。	

(5) デリバティブ取引関係（連結）

対象物の種類	取引の種類	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		
		契約額等 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
金利	スワップ取引	15,000	104	104
その他	クレジットデリバティブ取引			
	売建	7,000	59	59
	買建	3,360	139	139
	小計	-	-	80
	合計	-	-	185

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は開示の対象から除いております。

単体

(6) 当四半期の損益状況(単体)

(単位:百万円)

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	比較増減	増減率 %
元受正味保険料(含む収入積立保険料)①	205,462	182,908	22,554	11.0
(元受正味保険料)②	(189,413)	(175,431)	(13,981)	(7.4)
経 保 險 引 受 収 益 ③	204,287	192,970	11,316	5.5
(うち正味収入保険料)④	(174,411)	(162,099)	(12,311)	(7.1)
(うち収入積立保険料)⑤	(16,049)	(7,477)	(8,572)	(53.4)
(うち責任準備金戻入額)⑥	(6,379)	(17,262)	(10,882)	(170.6)
保 險 引 受 費 用 ⑦	174,121	161,135	12,986	7.5
(うち正味支払保険金)⑧	(97,800)	(97,367)	(433)	(0.4)
(うち損害調査費)⑨	(8,544)	(8,785)	(241)	(2.8)
(うち諸手数料及び集金費)⑩	(29,888)	(27,960)	(1,928)	(6.5)
(うち満期返戻金)⑪	(33,355)	(25,540)	(7,815)	(23.4)
(うち支払備金繰入額)⑫	(4,453)	(1,407)	(3,045)	(68.4)
常 資 産 運 用 収 益 ⑬	12,785	12,310	474	3.7
(うち利息及び配当金収入)⑭	(17,035)	(14,347)	(2,688)	(15.8)
(うち有価証券売却益)⑮	(1,069)	(1,941)	(872)	(81.6)
(うち金融派生商品収益)⑯	-	(1,217)	(1,217)	-
資 産 運 用 費 用 ⑰	4,236	2,418	1,818	42.9
(うち有価証券売却損)⑱	(990)	(478)	(512)	(51.7)
(うち有価証券評価損)⑲	(584)	(179)	(405)	(69.3)
(うち金融派生商品費用)⑳	(1,762)	-	(1,762)	(100.0)
(うち投資損失引当金繰入額)㉑	(491)	(206)	(285)	(58.1)
益 営 業 費 及 び 一 般 管 理 費 ㉒	30,503	30,627	124	0.4
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)㉓	(29,030)	(29,140)	(109)	(0.4)
そ の 他 経 常 損 益 ㉔	969	187	782	80.6
経 常 利 益 ㉕	9,180	11,288	2,107	23.0
(保険引受利益)㉖	(799)	(1,421)	(622)	(77.9)
特 別 損 益 特 別 利 益 ㉗	11	0	10	94.3
特 別 損 失 ㉘	738	1,231	493	66.9
特 別 損 益 ㉙	726	1,231	504	-
税 引 前 四 半 期 純 利 益 ㉚	8,453	10,057	1,603	19.0
法 人 税 及 び 住 民 税 ㉛	1,467	56	1,411	96.2
法 人 税 等 調 整 額 ㉜	330	2,585	2,254	682.9
法 人 税 等 合 計 ㉝	-	2,641	-	-
四 半 期 純 利 益 ㉞	6,655	7,415	760	11.4
諸 比 率 正 味 損 害 率 ㉟	61.0%	65.5%	4.5%	
正 味 事 業 費 率 ㊱	33.8%	35.2%	1.4%	

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税等相当額などでありませう。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) / 正味収入保険料 × 100

3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料 × 100

単体

(7) 種目別保険料・保険金（単体）
元受正味保険料（除く収入積立保険料）

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)
火 災	32,030	16.9	0.8	29,348	16.7	8.4
海 上	4,793	2.5	6.9	3,398	1.9	29.1
傷 害	15,339	8.1	8.6	14,544	8.3	5.2
自 動 車	84,422	44.6	1.6	82,717	47.2	2.0
自動車損害賠償責任	26,773	14.1	3.3	19,982	11.4	25.4
そ の 他	26,053	13.8	1.9	25,438	14.5	2.4
合 計	189,413	100.0	1.7	175,431	100.0	7.4

正味収入保険料

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 ()率(%)
火 災	23,746	13.6	0.3	21,266	13.1	10.4
海 上	4,278	2.5	9.1	3,190	2.0	25.4
傷 害	15,325	8.8	10.6	14,613	9.0	4.6
自 動 車	84,261	48.2	1.6	82,486	50.9	2.1
自動車損害賠償責任	22,264	12.8	4.3	16,837	10.4	24.4
そ の 他	24,535	14.1	3.1	23,705	14.6	3.4
合 計	174,411	100.0	2.2	162,099	100.0	7.1

正味支払保険金

区 分	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		
	金額 (百万円)	対前年増減 ()率(%)	正味 損害率(%)	金額 (百万円)	対前年増減 ()率(%)	正味 損害率(%)
火 災	9,516	3.2	43.9	10,785	13.3	54.9
海 上	1,282	33.6	31.1	1,904	48.5	61.1
傷 害	7,995	10.9	57.1	7,584	5.1	57.6
自 動 車	48,796	0.5	63.2	48,002	1.6	64.0
自動車損害賠償責任	18,320	0.3	88.2	17,765	3.0	111.9
そ の 他	11,888	8.5	52.9	11,324	4.7	52.6
合 計	97,800	1.1	61.0	97,367	0.4	65.5

(注) 正味損害率は、正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

(ご参考) ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	828,092	737,341
資本金又は基金等	249,927	242,517
価格変動準備金	3,231	2,581
危険準備金	13	13
異常危険準備金	280,617	278,051
一般貸倒引当金	83	79
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	206,968	131,328
土地の含み損益	21,103	21,105
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	13,366	13,573
その他	79,514	75,238
(B) リスクの合計額	221,122	207,144
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク(R ₁)	41,597	41,627
第三分野保険の保険リスク(R ₂)	1	1
予定利率リスク(R ₃)	3,197	3,234
資産運用リスク(R ₄)	82,628	76,827
経営管理リスク(R ₅)	4,964	4,678
巨大災害リスク(R ₆)	120,782	112,227
(C) ソルベンシー・マージン比率	748.9%	711.9%
$[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$		

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

ただし、当第1四半期会計期間末においては、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を前事業年度末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - 保険引受上の危険：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く。)
 - (一般保険リスク)
 - (第三分野保険の保険リスク)
 - 予定利率上の危険：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - (予定利率リスク)
 - 資産運用上の危険：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - (資産運用リスク)
 - 経営管理上の危険：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記～及び以外のもの
 - (経営管理リスク)
 - 巨大災害に係る危険：通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
 - (巨大災害リスク)
- ・「損害保険会社が有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み損益等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

(ご参考) 当社における証券化商品等への投資及びサブプライムローン関連投資の状況(平成21年6月末)

平成21年6月末の当社における証券化商品等への投資状況は以下のとおりであります。

なお、連結子会社における保有はいずれもありません。

1. C D O (債務担保証券)

(単位:億円)

	平成21年6月末(平成21年度第1四半期)			(参考)平成21年3月末(平成20年度)		
	時価	含み損益	減損処理額等	時価	含み損益	減損処理額等
C D O	86	3	-	82	2	65
格付があるもの	64	0	-	64	2	36
格付がないもの	22	3	-	18	-	29

(注) 1. 時価のある有価証券の減損にあたっては、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。

2. 格付のあるC D Oの格付別内訳は、A A A 27%、A A 59%、A 14%であります。

3. C D Oの担保の種類は、全てコーポレートを裏付け資産とするものです。

4. C D Oの地域別内訳は、国内63%、海外37%であります。

5. 格付別内訳及び地域別内訳の割合は、時価により算出しております。

6. 減損処理額等は有価証券評価損及び金融派生商品費用として処理した金額を記載しております。

7. C D Oについては、上記とは別に金融派生商品収益として17億円を計上しております。

2. C M B S (商業用不動産担保証券)

(単位:億円)

	平成21年6月末(平成21年度第1四半期)			(参考)平成21年3月末(平成20年度)		
	時価	含み損益	減損処理額等	時価	含み損益	減損処理額等
C M B S	120	4	0	131	4	-
国内	120	4	0	131	4	-
海外	-	-	-	-	-	-

3. C D S (クレジット・デフォルト・スワップ)

C D Sのうち、C D O等の証券化商品を参照しているものの保有はありません。

企業単一のクレジットを参照するC D S(売建想定元本70億円、時価 0億円、評価損益 0億円)を保有しております。

4. その他の関連投資

S P E s、レバレッジド・ファイナンス、金融保証、モノラインが保証する債券・証券化商品、その他のサブプライム・オルトAエクスポージャーはいずれも保有しておりません。

5. 上記1~4のうち、サブプライムローン関連の投資状況

サブプライムローン関連の保有はありません。

【各種証券化商品の用語について】

- ・C D O : Collateralized Debt Obligation、多数の債券やローンを集めて資産プールを作り、これを裏付け資産として証券化した証券。なお、当社が保有するC D Oの内、格付がないものはC L O (Collateralized Loan Obligation、多数のローンを裏付け資産として証券化した証券)のエクイティ部分を示す。
- ・C M B S : Commercial Mortgage-Backed Security、商業用不動産に対するローン債権を証券化した商品。
- ・C D S : Credit Default Swap、企業や証券化商品等を参照組織とし、そのクレジットを取引するスワップ契約。
- ・S P E s : Special Purpose Entities、S I V (Structured Investment Vehicle)等、証券化商品等への投資を専門に行う特別目的事業体の総称。
- ・モノライン : 金融保証(債券や証券化商品等の保証)に特化した保険会社。